

## 放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 22 年 7 月 13 日(火) 19:30～20:30
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 あまみエフエム階下 ASIVI にて
- 3 出席委員 委員総数 8 名 出席委員数 8 名

### 出席委員の氏名

水間 忠秀/濱田 百合子/宇都宮 英之/北之園 千春/寿 浩義/再田 美紀/  
築地 理昇/久岡 久乃

### 放送事業者側出席者名

丸田泰史/中原優子/小野健太郎/沖元眞実/元井庸介/米澤恵美子/  
盛島拓史/宮田愛

## 4 議題

番組内容の審議(「Weather Report」、「空の便、海の便」について)

## 5 議事の概要

- (1) 番組内容の審議(「Weather Report」、「空の便、海の便」について)
- (2) 次回の審議議題について
- (3) その他意見などについて

## 6 審議内容

- (1) 番組内容の審議(「Weather Report」、「空の便、海の便」について)

一放送局 丸田より、出席議員数が全員出席(8名)であること、放送事業者側 代表 麓憲吾が出席できないことが連絡された。

### 水間議長

それでは早速番組内容の審議ということで、「Weather Report」、「空の便、海の便」についての意見を、北之園委員からお願いします。

### 北之園委員

毎朝ちょうど通勤の時間帯なのでよく聞いています。もとのソースがどのようにでているのかということもありますが、個人的にはたとえば本茶峠より北は、南は、そういう区切りで天気予報がでてくれるとすごく助かります。トンネルを抜けると雨だったり晴れだったりするので。なかなか難しいとは思いますが。

飛行機の空席情報等は、自分は大概最終便に乗るので、最終便の案内をしっかりと聞こうと思いつつ、つい聞き逃してしまうことがよくあります。そのぐらいでしょうか。以上です。

### 宇都宮委員

気象情報に関しては、情報の出所が気象協会だと思うので、公式情報として流していると思います。

個人の意見を言わせてもらえば、各地にお天気おじさんのような、お天気名人がいると思う。猟師さんなどが多いと思いますが、「今日の雲は雨じゃや」とか、「この風はふるかもや」とか、北は笠利、龍郷から南は古仁屋までそういった名人さんなどを各地でピックアップできたら面白いと思います。公式情報ではないので当たり外れは時の運ということで。私もよく予想をしますが半分は外れます。

飛行機と船の情報について、北之園さんがおっしゃるように、自分が気に留めている便を聞こうと思っていてもよく流れてしまうことがよくあり、なにかいい方法はないかなと考えています。興味深いと思うのは、「空席」情報はというパーソナリティーと、「満席」情報は、というパーソナリティーが両方いること。どちらがいいのかなと考えると、聞くほうとすれば、空席情報の方が気になるかなと思います。

船の場合は、満席はあまりないと思いますので、遅れているとか、到着時間が気になりますし、飛行機の場合は、空いているだろうか、ということが気になるのではないのでしょうか。以上です。

## 再田委員

天気予報に関してですが、私はよくyahooの天気予報をチェックします。自分がいる場所の天気の情報を、クリックして実況を伝えるコーナーがあるのですが、その情報を参考にしたり、WEB上ででもピンポイントのエリアを絞って、今の時間この場所でどうかということリアルタイムに知りたいと思っています。常々、天気予報は当たらないと思ったりしているのですが、奄美各地の今がどうなのかを、お天気お姉さん、おじさんなどを募って、(信頼性があるかどうか不明ですが)、ネットでピンポイント情報をつのったりして、統計的に知れるといいかもしれせん。実況をレポートしてくれる人がいたりしても楽しいかと思ひます。

また、私は海に入るので、満潮や干潮などの、潮の状況も、天気予報より気になります。奄美は海と密着しているんで、そういった情報がほしい人も結構いるのではないのでしょうか。潮干狩りなどに行かれる方もいらっしやると思ひますので。

空の便海の便ですが、満席とか空席の情報もそうですが、私は仕事から飛行機の離発着の時間を気にします。JALのホームページで発着案内をチェックして、飛行機の運航状況の把握に活用しています。飛行機が遅れると、その後の各便の後れなども予想できたりします。そういった情報もあると助かるのかな、と思ひます。

同じく船も、徳之島ではジャガイモの収穫期には必ず定刻より遅れる、などあるらしいのですが、そういった情報が、港や空港に向かう途中でわかれば助かるな、と思ひます。

## 寿委員

気象情報ですが、天気予報は一般的なことです。これでいいのではないかなと思ひます。今私どもはグランドゴルフをします。朝8時すぎから電話が来ます。「名瀬は降っているけどそちらはどうだろう？」という。各集落ごとまでいなくてもいいので、各地の人に、朝の天気の状態を事務所に軽く一方入れておいてもらって、後は昼ごろに今の情報を入れてもらう、などの方法はどうでしょうか。天気予報で、(降水確率の)パーセントが出ていても、パーセントでどれだけ雨が降るのかは不明です。山ひとつ超えれば晴れていたり降っていたりするので。うちは大体名瀬測候所の情報で確認するのですが、大体の人は(降水確率の)パーセントはわかっている、30なら降るのか、20なら降らないのかなどわかりませんので、現在の状況的なものが、生番組で知れたらいいかなと思ひます。

今放送している情報は、それでわかるので、それを基本にして、その間あいだに今の状況として、朝、昼、夕と「今どこどこからの情報で、土砂降りになっているよ」など、生放送を生かして伝えてほしいと思ひます。

飛行機と船情報は、すでにでている意見ですが、満席か空席かぐらいでいいのではと思ひます。

あとの情報は必要なら問い合わせるでしょうから、目安になるということでは、それぐらいの内容で結構利用できるのではないかと思います。

## 久岡委員

今回は難しいお題で、どう言えばよいかと考えながら来ました。今皆さんがおっしゃったように、天気予報のリアルタイムの詳しい情報をほしいとは思いますが、それをリアルタイムに、間違いのない情報としてその瞬間に入れ込んでいくのはどうかとも思います。あまり長い時間だったらやっても、集中して聞けないと思うし、聞きたいところを思わず逃してしまったり、雨って言ったけどどこが雨だったかななど、情報が多ければ多いほどそういった錯誤も出てくるのかな、と。いろんな情報をたくさんほしいのだけれど、集中して聞ける長さっていうのもありますし、言い方とかもありますよね。そういうことを考えると、あまり欲張ってもよくないのではないかと思います。お天気情報については他にも色々な情報があり、必要なときは自分で情報を取りに行くと思いますので、ラジオであえて流すとすれば、シンプルにあまり時間をかけずさっさと、今伝えているような情報が、結局はいいのではないかと思います。どっちがいいのかな、などと考えながら来ました。

空の便、海の便について、満席の情報だけが最低限聞ければいいのかと思います。これについては、2回復唱していただくと聞き逃しがなくていいと思いました。特に船の情報については、たとえば鹿児島を出航したときに少し遅れました、など、時差があってもいいので、情報をいただくと助かるな、と思いました。

## 築地委員

僕もこれに関してはこれでいいのかなと思いました。あまりだらだらやっても情報は必要な方が必要な部分しかとらないので、最低限でいいかなと。

ただ、船と飛行機に関しては、最後に、詳しいことはどこどこにお電話下さいというように、船会社なり航空会社なりの電話番号を教える感じで、広げていただければいいのかなと思いました。

## 濱田副議長

Weather Report の時間を、瀬戸内に行くときに車の中で聞いて、この時間、私に何もストレスがないときは、BGM的にとてもよく、聞き流しているだけなのですが、なんだかリラックスできる時間だなと思ったりしています。時々思うのは、奄美では、という言葉について、奄美大島のことだと思うのですが、テレビで奄美北部と奄美南部というのは 奄美群島の北部と南部のことで、北部地域は大島と喜界島以北、南部地域は徳之島以南になるのですよね？その、いつもテレビで聞きなれている言葉との違いが、どうなのかなと思うのですが、奄美大島のことだけかなと思っていると 喜界島の情報が入っていたり、十島村のことが入っていたりするのです。しかし徳之島以南はあまり入ってこないではないですか。(ここに入っているのもどうかとも思うのですが。)気象はいろいろつながっているんで、分けるのは難しいと思うのですが、だからといって以南も入れてほしいということではないですが、でも入ることができれば、たとえば耳で十島村と聞くと、十島村に行ったことがあるので、思い出したりなどして、(私はリラックスタイムとして聞いてしまっているんで、)そういうのも楽しいなという漠然とした気持ちがあります。

それと、情報に、生活感が少し入るといいなと思います。パーソナリティーが、今日は晴れて洗濯物が乾いていいですね、とかの実感は、主婦だとそうよね～、というようなうなずき感というか、連帯感みたいなものがあるので、そういう生活実感的なものです。それはパーソナリティーだけではなくて、役場なのかわかりませんが、お話がちよっとあるといいなと思いました。

その生活感に関しては、船と飛行機に関しても、里見海運さんでしょうか？お姉さんが、今日もがんばりましょうというのがサンプルにあったのですが、がんばろうと思うのですが、もう少し彼女の、「今日はこうですね」などと、とても素敵なお声だったりするので、個人的な好奇心でというか、人とのやり取りがほっとすることって、あるじゃないですか。いつも決まったことを流していると、本当にBGMになってしまうので、そこにアクセント的に、ちょっと生活感のような日々ちょっとずつ違うものがあれば、メリハリというか緊張感が出て、BGMもちょっと色が着いたりもするのかな、と漠然と思いました。

## 水間議長

皆さんのお話と大体同じ感じなのですが、私もどちらの情報も必要のないときはBGM的に聞き流していて、本当に必要な時は自分で持っている情報ソースにアクセスして確認していますし、どちらの情報も、必要な方は、確認の方法を取らざるを得ないです。なので、情報ソースとしてすごく難しいかもしれませんが、少なくとも、気象情報と、空の便に関しては気象協会とJALのホームページでリアルタイムで出ていますので、そこへのリンクをディのホームページで用意してあげて、あるいはQRコードを携帯で見れるようにするなど、本当に必要な人はあまみエフェムのホームページに行けばすぐチェックができるようにしてもらえば便利かな、と思います。それ以外の人は電話するなりして確認するでしょうから、その辺りまでの手助けをしてあげればいいのではないかと。ただ、フェリーに関してはそういったホームページがないので、ツアーサービスさんにそういうページを作ってもらうように協力を依頼できれば、全部そろわないかなと。

Weather Report については、宇都宮さんからも北之園さんからもあったのですが、これからでかけようというところの、具体的な天気、雨降ってますとか雲が出てまっ暗ですとか、ピーカンですとかほしいと思います。リスナーからでは情報が出揃わないと思いますので、リスナーレポーターみたいな感じで募集をかけて、固定の方をマングローブパークさんであったり西郷レンタカーさんであったり、瀬戸内の方だったりマリステーション奄美のフロントの方だったり、天気について、メールでも、「こちらこれから雨が降りそうです」とか「予報では雨ですが全然大丈夫です」とか、一言もらえるようなのがあれば、リアルに伝わるように思います。

あと、宇都宮さんからの情報ですごくいいかと思ったのは、各集落の天気予報の言われ、などを一集落ごとに紹介するような、そんなコーナーがあるとすごく島らしくていいなと感じました。

天気予報、交通情報の放送の内容自体は、今のままで十分でないかなというのが結論です。

## 宇都宮委員

天気予報は、難しいですね。さっき濱田さんがおっしゃったように、奄美地域という区分は、トカラ列島から与論まで全部入るんですよ。奄美地方はまだ梅雨明けしていないですね。奄美大島の天気を見ると、ほとんど梅雨明けしているのですが、上の方、種子島の方がまだうずうずしていますよね。その辺りが明けないと奄美地方がまだ梅雨明けにならないんですよ。奄美大島はどうかっていうと、もう暑くてたまらない夏、ですね。与論なんて、沖縄が明けた時点で明もう夏です。私は週間予報などみて、夕立や雨の予想をしています。また、国土交通省のリアルタイムレーダーが10分おきに更新していて、雲が沸き立つとすぐわかる。あとはピンポイントで情報がほしいな思うときがあります。

## 久岡委員

濱田さんがおっしゃったことで、私も考えたときに、自分たちが聞き流してしまうところでも、もしかしたら、一日中家の中にいてラジオを聞いておられる、お年寄りの方などを思ったときに、パーソナリティーがちょっと肌で感じた空気感などを伝えていただけると、家の中にも季節感を感じることができるのかなと。空が高いとか、海

からの風が気持ちいいとか、あ、梅雨が明けたな、というような、肌で感じた空気感を一言入れていただくと、家の中にいても少しでも季節感を感じられるのではないかと思います。

#### 放送局より補足

- ・ 天気予報の地区区分について、警報、注意報が出ているときには、奄美地方北部、奄美地方南部の後に必ず、もう少し詳細の地域名を入れるようにしています。例えば、奄美地方北部、奄美大島、喜界島、というように。そういったことで、喜界島や十島村の情報をお伝えもしています。
- ・ 細かい情報を伝えたいが、気象協会からもらえる情報は、気象庁が区分に従ったもので、奄美地方としてしかもらえません。気象実況というものがあって、それでももう少し詳細な地区の情報はお伝えしています。個人のレポーターさんは難しいとしても、会社や団体の方々に、誰が出てでも対応してもらえるような方法であれば、検討してもいいかと思います。

なお、現在、朝のあまネットたるだ〜！？というコーナーで、各地に電話がつながった際、天気はどうでしょかと聞くようにしています。大抵はスタジオ周辺の天気と同じなのですが、たまに違っていると、やっぱり違うんだなあという見せ方もできるので。毎日つなぐ先が違っているので、各地をお伝えすることはできないのですが。

#### (2) 次回の審議議題について

放送局 丸田より、次回の審議内容について「なちかしや、みくいぬ、ちゅんなまうがでい」であることが報告された。

放送局 元井より、次回の審議番組である「なちかしや、みくいぬ、ちゅんなまうがでい」について以下のことが説明された。

- ・ 「なちかしや、みくいぬ、ちゅんなまうがでい」とは、俊良主節の一節からとった言葉であること
- ・ パーソナリティーは若手唄者 前山真吾氏、サーモン&ガーリックの新元一文氏であること
- ・ 島唄についてのトーク番組であること
- ・ 毎回ゲストをスタジオに招いて島唄との出会いから現在の付き合いまでを語ってもらうこと
- ・ 番組の趣旨として、対外的な島唄というものは、中孝介氏、元ちとせ氏の活躍により、広くくりに見られているが、実際は、島々によって生活に密着しており、独自性があるものである。逆に、例えば漁業が盛んなところは漁業にまつわる唄が残っている、など、生活に密着しているからこそ残っているともいえる。そういったことにスポットを当てて島唄を残していこうという番組であること
- ・ その他、番組の構成、これまでのゲストなどについて

また委員から、以下のことが質問された

- ・ 次のゲストの選出方法について。ゲストが次回のゲストを紹介する方法はどうかの提案とともに。
- ・ スタジオに来ることが可能な唄者については、それでいいのだが、ご高齢などの理由でスタジオに来ることができない唄者について、そういう方の話も、すばらしいと思うのだが、自宅に出向いて話を聞くことなどは考えているのか。  
(スペシャル番組などでそういったこともあり得る旨説明される。)
- ・ 解釈の違いがあるのは当然で、解釈ということをあえて避けなくてもよいのではないかと。  
(現時点では各地の違い、唄者自身の解釈の違いを紹介するにとどめている旨説明される。)

(4) その他意見などについて

とくに意見等は出なかった。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

① 自社放送:平成 22 年 7 月 24 日(土曜日)17:30～「ゆふいニング・アワー」番組内で放送

② 書面の備置き:平成 22 年 7 月 24 日(土曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応

③ インターネット:平成 22 年 7 月 24 日(土曜日)より当法人インターネットのホームページに転載

9 その他の参考事項 なし